

平成24年7月3日テレビ会議（反訳者：田嶋清一、平成24年8月26日）

総長 あれよく見ると、学生に頼んで、自分の授業良かったっていうの書いてもらってんだろ。

男 はい。

総長 証拠として。

男 はい。

総長 書いてもらってんだろ？

男 はい書いてもらってます。

総長 あれは後付けだろ、後付けだろ。

男 まーそうですね。

総長 事件がなってから頼んだんだろ。あれ。

男 そうです。

総長 だからあれを、あれが邪魔になるよな。

男 まあそうですね。

総長 おかべ先生。

岡部 はい、何か出てる。

総長 う？

岡部 何か出てる

総長 う？

男 何か 出てるやつでしょうか？

総長 や、いっぱい書いてあるけど、お前、やり方としてさ、まず、あれをつぶさないかんだろ、学生がいい先生だっていう証拠。

男 はい。

総長 違うの？

男 えーと、そうですね、ただこちらとしては、もうそういう評価の学生もいるっていうの出て来ちゃったので、

総長 いやだから、やり方としてだな、あれは頼んだんだよ。

男 はい。

総長 評価をしてるっていうよりも、「そういう風を書いてくれ」って頼んだの、学生に。

男 まあはい。

総長 田嶋先生が、そう思わない？

男 そうです。

総長 そうだろ。

男 はい。

総長 岡部先生さ、あの、検事がやったろ、あの示談した後にさ、示談した後に検事が、

その検事の秘書がいるだろ秘書、事務官が、

岡部 はい。

総長 あれが示談した女の子の家に電話して、

岡部 ええ。

総長 示談はしたけど許してないっていうの、電話聞き取りしましたと。

岡部 ありましたね。そういう事。

総長 あつたろ。そうそうそれで、ね、それを同意しろと、その電話の奴を。そうしないと示談した奴を宥恕文言のを同意しないとかやったろ、覚えてる？

岡部 交渉材料にされましたね。

総長 そうそうそうそう。あれは名誉棄損にはならないのか、お前らのこの前の発想だと。ならねえだろ全然別に、検事がやったんだもん。あれで弁護士が手も足も出なかったろ、あの時。思い出した？

岡部 はい。

総長 だから同じで、あそこに学生がばーっと名前連ねて、あーだこーだあーだこーだ、色々言ってんだろ、田嶋先生の方がいいって。

男 はい。

総長 あれは後で田嶋先生が「助けてくれ」と、

男 はい。

総長 学生で自分の事あんまり嫌ってない学生もいるだろう中には。「助けてくれ」って頼んで書かせたものなんだよ。

男 そうだと思います

総長 作文なんだよあれは。そういう風にとらないといかん。そういう風にとらないと。

男 はい。

総長 だから、ああいう学生もいました、じゃなくて、学生というのは色んな学生があつて、色んな考え方もあるけれど、被害をこおむったのもいるし、こおむってないのもいるけど、あれは作文なんだよ。作文。

男 はい。

総長 作った虚偽なんだよ、ある意味で。虚偽。

男 はい。

総長 聞こえた？声聞こえる？

男 はい。聞こえています。

総長 どうするかというとなあ、俺達がやるのはまあ、あんまりよくないから、法律の担当者がやるのは、

男 はい。

総長 あの学生、俺達、手嶋先生のところFAX送っただから、

男 はい。

総長 手島先生が各学生に、俺電話後で頼むけれど、あれ、「頼まれて書いたのか?」、「田嶋先生に頼まれて書いたのか?」とテレフォンインタビューするんだよ、

男 はい。

総長 っていうのは手島先生とか、学長松原先生が知ってる学生かどうか聞いて、知ってる学生だったら教えて下さいって言って、テレフォンインタビューしてあれは田嶋先生に書いてくれって頼まれたんで、

男 はい。

総長 書きましたと。田嶋先生がそうしないと首なっちゃうから、言って頼まれたんで書きましたというのを、だ一つと聞いて、まあだから松原先生なり手島先生が本格的に聞いたら 学生に聞いたら、「本当はあんな事思っていないけれど、書いてくれって頼まれたから書いただけですよ」というのを電話で聞き取って、

男 はい。

総長 それ電話で聞き取ったやつを、それをまとめて、この学生はこうでこう頼まれたんですよ、って言って、ね、本人に聞いてみたらそうですよと、

男 はい。

総長 言ってました、と一筆とるんだよ。おかべ先生わかる?

男 わかりますよ。

総長 検事がやったようなことやるんだ、検事がやったようなこと。そうしたらあれが死んじゃうだろう、少なくとも。あれが本当の学生の声だとは思えない。それを手島先生と松原先生に頼んで、いま送っというから手島研究室にあれを。

男 はい。

総長 少なくともそれを打ち破ると。

男 はい。

総長 あれは田嶋先生が、自分の生活、首になると困るからと学生に頼みこんだものと、学生が、みんな殆どの学生が証言しました、というの

男 はい。

総長 電話聞き取りで、松原手島から一筆とる。

男 はい。

総長 そうすればあれが死んじゃうよ。であとまた詳しい他になんか書いてあったら、評価とかああいうのは、あれもどの程度本当なのかどうか聞かないと。

男 はい。

総長 わかった?

男 はい。

総長 それをお前達ようやらんだろ、できる?

男 はい。

総長 手島、松原学長に聞くしかないよ。

男 はい。

総長 一応俺手島先生に俺電話して聞くから、送っといいたからFAXで。

男 はい。有難うございます。

総長 おう。だから検事がやったらもっと悪いよな。 事務官に全然お金払って示談したけどあんなの無効ですとか言わせるんだもん。な、おかべ先生、思い出した？

男 いやよく覚えてます。あれ。

総長 あれ、むかつくよな。あんなことよくやりゃあがったと思うけど、あれだってお前逆に言うとお前名誉棄損だぞお前。そうだろ？名誉棄損ならなかった？へいちゃらで検事がやりやがって。それよりはうちはましかもしれないけど、だから学長と手島学部長に聞いて、この名前、送っといいたから、こういう内容でこう書いてきたけど、どうもあれは作らせたんだ、やらせだったんだ、田嶋の。事件が起きてから書かせてるからやらせになる。それの前のやつだったらね、俺は前からそういう評価受けてるっていうのわかるよ。事件を受けてからやってるから、手紙でやってるじゃない、日付見ろよ日付、やらせだよあれは。やらせじゃないかというの聞いてみて、それを電話インタビューさせて、それを電話でこう聞きましたというのを、後名前だ一つと並べて、あれはやらせでした、というのを作ればいい、書いて出させりゃいいんだよ。

男 はい。

総長 おかべ先生どう思う？おい。

男 そうですね。それで何人かでも間違ってるっていうのが指摘出来れば、効果はあると思います。結局、 呼ばれるとかなくて？

総長 あれはやらせだから。

男 いや恐らく、ここにいる人達は証人尋問は呼ばれない。

男 呼ばれない？

男 まあわかんないけどね。

男 こっちで例えば電話で聞いて違うこれとさ、違った結果出したとするでしょ、対するでしょ。 我々が電話で聞いたら反対の事言っていました。そしたらどうなるの？

総長 いやあのね、あのね、反対な事というより、「頼まれてやった、書きました」と言うよ。

男 この内容は虚偽だという指摘をするんですよ。

総長 虚偽というよりも、作文なんだよ、作文。頼まれたからね生徒だから、先生に多少お世話になったという気持ちがあるから、あそこまで褒める事はないにしても、だから説明してるじゃない、学生の中には田嶋先生のを嫌って、嫌がって悪口言うのもいるだろって書いてある、田嶋先生ぜんぶ言ったんだよ、セクハラでやられたとか、説明して、困るから、職を失ったら困るからという、頼みこんだという、あの文章の中に形跡があるよ。だからそれをただ単に「田嶋先生から頼まれたんですよ」と、いう事をば一つと電話して、一覧表でいいから、知ってる生徒がいたらって事で、ば一つと一覧表で 以下の学生

が田嶋先生から電話かかってきて、「首になるからなんとか助けてくれ」って言われて、だからああいう風にしたんですよ、というのを、電話でインタビューしましたけどって、ば一っとサインしてもらって出してもらえばいいよ。わかった？ わかった？

男 はい。サインもとるんですか？

総長 手嶋先生に聞いてみるから。

男 はい。卒業生のサインも頂くんですか？

総長 卒業生のサインなんていらねえ。電話だけでいいよ。あの検事がやった時もそうだったじゃん。電話で聞いて書いたやつがサインしたんだよ。秘書官が。

男 はい。

総長 検事に秘書いるんだよ。 の。

男 はい。

総長 あれがお前、宥恕文言のをひっくり返して、金もらったけど許してません、なんて勝手に作りやがってさあ、

男 はい。

総長 それを出すか出さないかお互いに 示談書を出すなど、それを出すんならこっちも の不同意すると。

男 はい。

総長 俺がそれを不同意しようと思ったら、じゃあそっちの示談書も不同意

覚えてるだろお前？え？ああいう手口をね、検事は悪質な手口を使うんだよ。相手が署名しても否定しちゃうんだから。電話で聞いてたら違う事言ってたぞっちって。な、おかべ先生？覚えてるだろ。まーだからそんな事じゃないけれど、先生方が聞いて、何人もいるから、例えば4人とか5人並べて、大体同じ「頼られました」という事であれば、それを書いて、電話で聞いたら、学生が「頼まれたからあそこまで書いたんです」って言ってましたよ、っていうのを出せばいいんだよ。

男 はい。

総長 そしたらあの威力半減しちゃうよ。あんなもん作り話だよ。わかったろ？

男 はい。

総長 事件が起きて裁判なったから頼んで、日付見ればわかるじゃない。日付に出てるじゃない、それ以前の物と違うんだから。だからあんなもん正直に、あれがそういう学生がいたなんて思わないほうがいいよ。

男 はい。

総長 学生なんてノンポリだよ。何年も教えているけれど。ほんとに田嶋先生はね、生徒攻撃の授業やってたんだよ。

男 はい。

総長 だからああいう事学生に言われるんだし、他の先生方も、証言からもそういうのが出てるんだから。

男 はい。

総長 首になったから、そんなに感じなかった学生から選びだして、書いてもらって、手紙でやったっていうだけだけど、あれは逆に、逆効果なんだよ。ああいう事出してきたこと自体が、向こうの弁護士が失敗だよ。逆に違っていましたよと、「頼まれたから書いたんです」と言っていましたよ、というのを並べて書いて出しちゃえばいい。学生ひとりひとりやらなくても電話で聞いたらそうでしたってやればいいんだよ。おれらじゃなくて教えてた他の教授がやればいいんだよ。 手島先生に送っておいたから。

男 はい。

総長 電話してちょっと吟味してくれって言うから。

男 あ、はい。

総長 わかった？

男 はい。

総長 だからその前のやつ評価もちょっと疑問に思うんだよな。格調のいいやつばかり出してるから。それも聞いてみるから。

男 はい。

総長 そんなとこ。

男 あ、はい。わかりました。

総長 じゃあちょっと頭に入れといてくれ な。

男 はい。

総長 正直すぎて駄目だぞお前。世の中にはいっぱい裏があるんだからよ。悪いことやる奴いっぱいいるんだから。田嶋も必死で悪いことやろうとしてんじゃん 嘘ついて。

男 はい。

(以上)